

平成21年6月8日

東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所7号機に対する原子炉起動時の保安検査等の実施状況について（第10報）

東京電力株式会社（以下「東京電力」という。）柏崎刈羽原子力発電所7号機は、平成21年5月9日以降、原子炉を起動してプラント全体の機能試験を行っています。
東京電力は、6月5日より発電機出力を定格電気出力100%（135.6万kW）から定格熱出力100%（約140万kW）まで上昇させる操作を開始し、同出力で安定させた状態で運転監視を行うなどした結果、本日、定格熱出力100%の段階での運転状態における評価を終えました。
これらに対する原子力安全・保安院（以下「保安院」という。）の確認状況についてお知らせします。

1. 保安院の確認結果

（1）プラント全体の機能の確認

定格熱出力100%におけるプラント運転パラメータ採取が、定められた手順書に従い適切に実施されていること、その結果が定格熱出力100%到達後の評価会議において評価され、判断基準内に収まっている等、問題がないこと及び定格熱出力で安定して運転していることを確認していることを、中央制御室における立ち会い等により確認しました。

（2）プラント起動時の設備点検の確認

定格熱出力100%到達後に実施された「耐震強化工事を実施した設備に対する配管振動確認」等について、その結果が評価会議において評価され、問題がないことを評価会議への立会い等により確認しました。

2. 保安院の評価及び今後の対応

以上の確認結果から、保安院は、原子炉の起動に係る一連の運転操作が適切に行われ、運転パラメータに問題がないことを確認し、プラント全体の機能試験が適切に実施されていると評価します。

なお、7号機は定格熱出力にて安定的に運転されていると評価できたことから、保安院は、本日21時をもって中央制御室での24時間立会いを終了します。

保安院は、引き続き、厳格に確認を行い、次回は、プラント機能試験終了時における保安院の確認結果について公表します。

保安院としては、今後、運転データや点検結果等をもとに、専門家の意見を聴いた上で、最終報告をとりまとめることとしています。

（本発表資料のお問い合わせ先）

原子力安全・保安院

柏崎刈羽原子力保安検査官事務所 竹本 亮

電話：0257-23-9798（直通）

原子力発電検査課長 山本 哲也

電話：03-3501-9547（直通）